

言語・文学委員会分科会の設置について

分科会等名： 文化の邂逅と言語分科会

|   |                                     |  |
|---|-------------------------------------|--|
| 1 | 所属委員会名<br>(複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。) | 言語・文学委員会   |
| 2 | 委員の構成                               | 15名以内の会員又は連携会員   |
| 3 | 設置目的                                | <p>言語・文学委員会の設定した課題「日本語の将来への提言」のための作業部会として、複数の文化の接触がもたらす言語変化とスタンダードの問題を検討する。</p> <p>現在の日本は急速なグローバル化の波の中で、外国からの文化、経済、政治をはじめとする多分野の情報の流入のみならず、海外からの移民の増加や日本人の海外ビジネスへの進出など、「国語」の境界が絶えず揺れ動く状況にある。現在、あるいは過去の諸外国の類似の状況に照らして、このような状況にある「国語」ないし「日本語」の問題を検討した上で、今緊急に必要とされる対策を審議することを目的としている。</p> |
| 4 | 審議事項                                | 異文化接触にともなう言語の変化と、現在の日本の言語のあり方に関すること。   |
| 5 | 設置期間                                | 平成29年10月30日 ～ 平成32年9月30日   |
| 6 | 備考                                  |  |